

仙台市先史遺跡保存活用施設（仙台市富沢遺跡保存館・仙台市縄文の森広場）の 指定管理者候補者の選定経過及び結果について

仙台市先史遺跡保存活用施設について、次のとおり指定管理者の候補となる団体を選定しましたのでお知らせいたします。

1 施設概要及び指定期間

(1) 施設名 仙台市先史遺跡保存活用施設（仙台市富沢遺跡保存館・仙台市縄文の森広場）

(2) 所在地

仙台市富沢遺跡保存館	仙台市太白区長町南四丁目3番1号
仙台市縄文の森広場	仙台市太白区山田上ノ台町10番1号

(3) 指定予定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日

2 選定スケジュール

令和3年7月16日	教育局選定委員会開催（公募によらず選定すること及び申請書について審議）
令和4年1月12日	教育局選定委員会開催（申請書類の審査、候補団体の選定を実施）

3 教育局選定委員会の構成

委員数 計4名（内訳：民間委員3名、市職員委員1名）

4 指定管理者の候補者

(1) 団体名 公益財団法人仙台市市民文化事業団

(2) 代表者名 理事長 佐々木 洋

(3) 所在地 仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目27番5号

5 選定理由

富沢遺跡保存館は、発掘された2万年前の樹木やたき火跡を現地保存処理して公開するとともに、旧石器時代の植生を復元した「氷河期の森」を一体的に整備した施設です。また、縄文の森広場は、富沢遺跡保存館の分館として、山田上ノ台遺跡の調査成果に基づき縄文ムラを復元し体験活動を主たる事業として行えるように整備した施設です。指定管理者である公益財団法人仙台市市民文化事業団は、両施設を一体的に運営することによって、小中学校との利用学習における原始・古代に係る事業の連携的な展開や共通利用券による利用促進など、事務事業の効率化や相乗効果を図っております。

また、両施設が有する博物館施設としての基本事業（資料の収集、保管、調査研究、展示、教育普及）は、長期的な業績の蓄積に基づいて、計画的に行なわれるべきものです。特に、富沢遺跡保存館のメイン展示である樹林遺構は、現状保存という展示方法の特殊性ゆえに、遺構表面の白色析出物等への対処など継続的な観察・管理対応が不可欠であるため、業務遂行において相当の専門的知識を有するのはもちろんのこと、日々の微細な変化をも観察でき得る独自の経験値が必要とされ、富沢遺跡保存館周囲に植生復元した「氷河期の森」、縄文の森広場に復元された竪穴式住居や縄文の森も同様に、その維持管理には原始の植生や住居に関する専門的知識と継続的な観察が必要とされます。

さらに、両施設を運営する公益財団法人仙台市市民文化事業団は、社会教育の観点から

長年にわたり施設ボランティア等の人材育成をするとともに、これらの人々との連携を図り、市民参画による施設運営を積極的に進めてきたばかりでなく、遺跡を活用した利用学習を充実させ、学校教育や地域社会との連携を推進するなど、幅広い年代層への普及啓発により文化財保護への意識涵養を図っております。

今回の選定にあたっては、このように極めて高い専門性とノウハウを有し、市に存する先史時代の重要な遺跡を良好に保存活用し、体験学習や人材育成にも力を注いでいるなどその実績が高く評価されました。また、新たな体験学習プログラムの開発や最新の調査研究を反映した展示の企画等、提案された事業内容から、今後も施設の設置目的に即して発展的な事業運営ができるものと期待できます。以上のことから、公益財団法人仙台市市民文化事業団を、公募によらずに、指定管理者の候補者に選定しました。

6 その他

指定管理者候補者として選定された団体を指定管理者として指定する議案について、令和4年第1回定例会に提出する予定です。当該議案が議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

お問い合わせ先

教育局生涯学習部文化財課管理係（電話番号：022-214-8892）